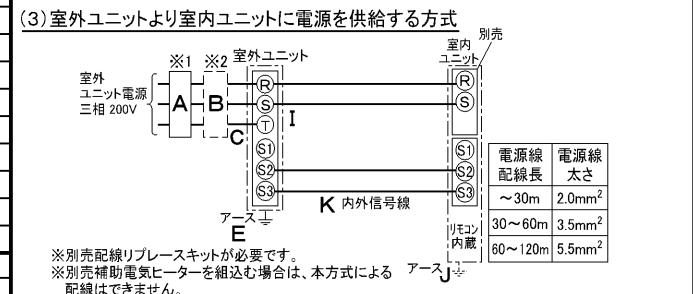
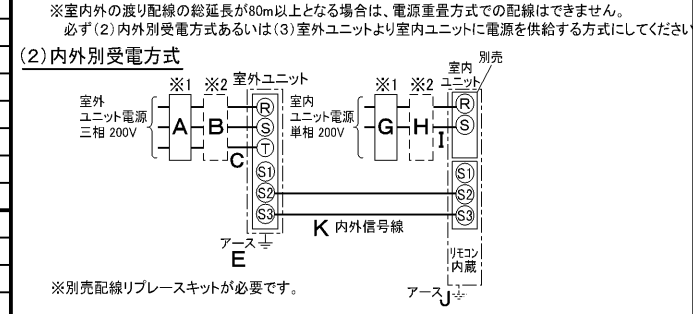
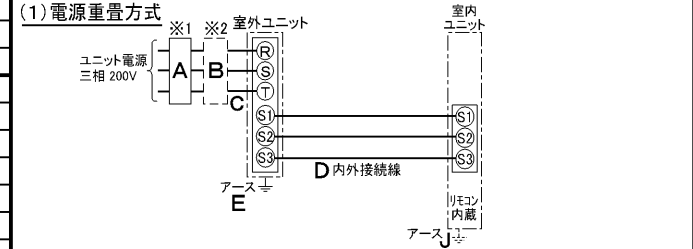


仕 様 表			
電 源	電 源 ・ 三 相 200V		
電 源 周 波 数	Hz 60Hz		
冷 房	定 格 冷 房 能 力	kW 25.0(11.2~28.0)	
	定 格 消 費 電 力	kW 9.46	
	冷 房 エ ネ ル ギ ー 消 費 効 率 (COP)	— 2.64	
	運 転 電 流	A 30.3	
	力 率	% 90	
	定 格 冷 房 時 の 顕 熱 比	— 0.74	
	中 間	中 間 冷 房 能 力	kW 11.30
	中 間 冷 房 消 費 電 力	kW 3.53	
	中 間 冷 房 エ ネ ル ギ ー 消 費 効 率	— 3.20	
	冷 房 期 間 エ ネ ル ギ ー 消 費 効 率 (CSPF)	— 3.9	
暖 房	定 格 暖 房 能 力	kW 28.0(12.5~31.5)<33.2(17.7~36.7)>	
	定 格 消 費 電 力	kW 8.03<13.23>	
	暖 房 エ ネ ル ギ ー 消 費 効 率 (COP)	— 3.49<2.51>	
	運 転 電 流	A 25.8<40.2>	
	力 率	% 90<95>	
	中 間	中 間 暖 房 能 力	kW 12.60<15.20>
		中 間 暖 房 消 費 電 力	kW 3.29<5.89>
		中 間 暖 房 エ ネ ル ギ ー 消 費 効 率	— 3.83<2.58>
	低 温	暖 房 低 温 能 力	kW 25.0<30.2>
		暖 房 低 温 消 費 電 力	kW 11.30<16.50>
	暖 房 期 間 エ ネ ル ギ ー 消 費 効 率 (HSPF)	— 3.6<2.5>	
冷 暖 平 均 エ ネ ル ギ ー 消 費 効 率 (GOP)		— 3.07<2.58>	
通 年 エ ネ ル ギ ー 消 費 効 率 (APF)		— 3.7<2.9>	
最 大 運 転 電 流		A 40.5<55.5>	
室 内 ユ ニ ッ ト	室 内 形 名	MPF-RP280BA2	
	外 形 寸 法 <H × W × D>	mm 1850 × 1200 × 400	
	外 装 色 <マ ン セ ル >	— アイボリー<5Y 8/1>	
	補 助 電 気 ヒ ー タ ー	kW 5.2(別 売)	
	エ ア フ ィ ル タ ー	PPハニカム(抗 菌 仕 様)	
	送 風 機 (形 式 × 出 力 × 個 数)	— シロッコファン × 0.4kW × 1	
	風 量	m <sup>3</sup> /min 弱 64—強 80	
	機 外 静 圧	Pa 0	
	風 向 調 節	上 下 方 向 手 動 切 換 左 右 方 向 手 動 切 換	
	運 転 音	dB 弱 49—強 56	
製 品 質 量	kg 127		
ド レ ン パ ン	— 鋼 板		
ド レ ン 配 管 サ イ ズ	— VP-20		
室 外 ユ ニ ッ ト	室 外 形 名	MPUZ-WRP280HA5(-BS(G))	
	外 形 寸 法 <H × W × D>	mm 1800 × 900 × 750	
	外 装 色 <マ ン セ ル >	— アイボリー<3Y 7.8/1.1>	
	圧 縮 機	1 日 の 冷 凍 能 力 法 定 ト ン 0.890~3.500	
	保 護 装 置	— 全 密 閉 × 5.5kW × 1	
	設 計 圧 力 (高 圧 部 / 低 圧 部)	MPa 3.6 / 2.3	
	I P コ ー ド	— IPX4	
	送 風 機 (形 式 × 出 力 × 個 数)	— プロペラファン × 0.635kW × 1	
	風 量	m <sup>3</sup> /min 150	
	送 風 機 用 保 護 装 置	— 温 度 開 閉 器	
運 転 音 (冷 房 / 暖 房)	dB 57 / 58		
製 品 質 量	kg 198		
共 通 事 項	冷 媒	— R410A × 10.5	
	冷 媒 配 管 長	m 30(追 加 チャ ー ジ 時 120)	
	高 低 差	m 40	
	室 内 側 冷 媒 配 管 径 (液 / ガ ス)	mm φ 12.7 / φ 25.4	
	室 外 側 冷 媒 配 管 径 (液 / ガ ス)	mm φ 12.7 / φ 25.4	
温 度 設 定 (リ モ コ ン)		冷 房 ・ ド ラ イ 19~30℃ / 暖 房 17~28℃	
使 用 温 度 範 囲	冷 房	室 内	乾 球 温 度 19~32℃ / 湿 球 温 度 15~23℃
		室 外	乾 球 温 度 -5~43℃ / —
	暖 房	室 内	乾 球 温 度 17~28℃ / —
		室 外	乾 球 温 度 -20~21℃ / 湿 球 温 度 -20~15℃
セ ッ ト 別 売 形 名			
注 意 事 項			

機 外 配 線 要 領				
機 外 配 線	漏 電 遮 断 器	定 格 電 流	A	50
		定 格 感 度 電 流	A	mA 100
		動 作 時 間	—	0.1S以 内
	手 元 開 閉 器	開 閉 器 容 量	A	60
		B 種 ヒ ュ ー ズ	B	A 50
	配 線 用 遮 断 器 定 格 電 流		A	50
	ユ ニ ッ ト 電 源 線 太 さ		C	mm <sup>2</sup> 14.0
	内 外 接 続 線 太 さ	50m 以 下	D	mm φ 2.0
		80m 以 下	D	mm φ 2.6
	ア ー ス 線 太 さ		E	mm φ 2.0
機 外 配 線	電 源	三 相 ・ 200V / 単 相 ・ 200V		
	漏 電 遮 断 器	定 格 電 流	A	30 / 15
		定 格 感 度 電 流	G	mA 30
		動 作 時 間	—	0.1S以 内
	手 元 開 閉 器	開 閉 器 容 量	H	A 30 / 15
		B 種 ヒ ュ ー ズ	H	A 30 / 15
	配 線 用 遮 断 器 定 格 電 流		A	30 / 15
	電 源 線 太 さ		I	mm <sup>2</sup> 5.5 / 2.0
	内 外 接 続 線 太 さ		K	— 0.3mm <sup>2</sup> 以 上
	ア ー ス 線 太 さ		J	mm φ 1.6
リ モ コ ン 線		F	mm <sup>2</sup> 0.3~1.25	

### 電 気 配 線 図



- (2) または (3) の 場 合、S1-S1 間 の 渡 り 配 線 は 絶 対 に 行 わ な い で くだ さ い。
- ※ 1. 電 源 に は 必 ず 漏 電 遮 断 器 を 取 付 け て くだ さ い。  
漏 電 遮 断 器 は、イ ン バ ー タ ー 回 路 用 遮 断 器 (三 菱 電 機 製 NV-C シ リ ー ズ ま た は、そ の 同 等 品) を 選 定 し て くだ さ い。
  - ※ 2. 漏 電 遮 断 器 が 地 絡 保 護 専 用 の 場 合 に は、漏 電 遮 断 器 と 直 列 に 手 元 開 閉 器 (開 閉 器 + B 種 ヒ ュ ー ズ) ま た は、配 線 用 遮 断 器 が 必 要 と な り ま す。  
・ 電 線 太 さ は、20m ま で の 電 圧 降 下 を 見 込 ん で 選 定 し て あ り ま す の で、20m を 超 え る 場 合 は、電 圧 降 下 を 考 慮 し て 「内 線 規 程」等 に 従 い、お 選 び くだ さ い。  
・ 電 力 会 社 の 地 区 に よ り 規 制 を 受 け る 場 合 が あ り ま す の で、事 前 に 所 轄 の 電 力 会 社 に お 問 い 合 せ くだ さ い。

**三菱電機株式会社**  
空 冷 ヒ ー ト ポ ンプ 式 パ ー キ ー ジ エ ア コ ン 仕 様 書  
グ リ ー ン 購 入 法 適 合

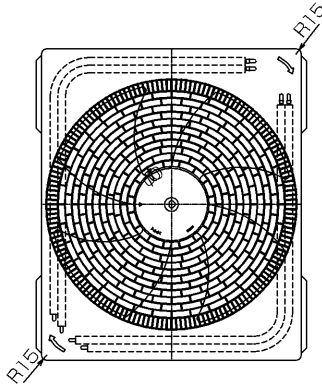
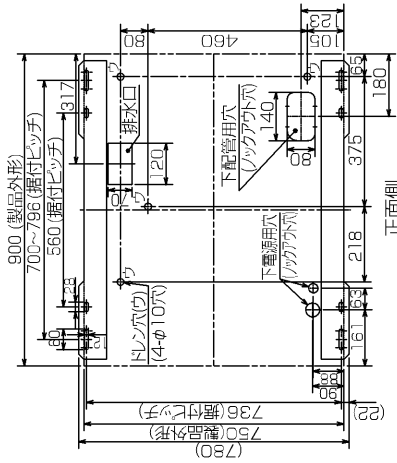
床 置 形

形 名	MPFZ-WRP280BK	〈耐 塩 害 仕 様〉は、室 外 ユ ニ ッ ト 形 名 末 尾 -BS 〈耐 重 塩 害 仕 様〉は、室 外 ユ ニ ッ ト 形 名 末 尾 -BSG
作 成 日	2006-09-04	
図 番	MPFZWPR280BK-6	
副 番		
記 号		

- 冷 房 ・ 暖 房 能 力 お よ び 電 気 特 性 は JIS B8616:2006 お よ び JRA4048:2006 に 準 拠 し た 値 で す。  
延 長 配 管 7.5m (相 当 長)、高 低 差 0m
- 冷 房 ・ 暖 房 能 力 の ( ) 内 は、能 力 変 化 の 値 を 示 し ま す。  
暖 房 能 力 ・ 低 温 暖 房 ・ 電 気 特 性 < > は、補 助 ヒ ー タ ー 作 動 時 の 値 で す。
- 運 転 音 は、JIS 規 格 に 準 じ て、反 響 の 少 な い 無 響 室 で 測 定 し た 数 値 (A ス ケ ー ル) で す。  
実 際 に 据 付 た 状 態 で 測 定 す る と、周 圍 の 騒 音 や 反 響 な どの 影 響 を 受 け、表 示 数 値 よ り、大 き く なる の が 普 通 で す。



### 据付ボルト及びドレン穴位置詳細



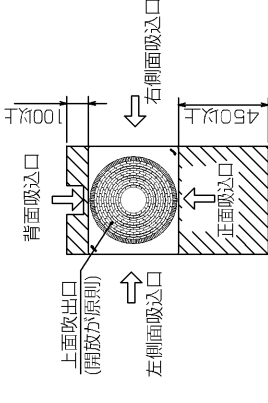
正面側

(単位 mm)

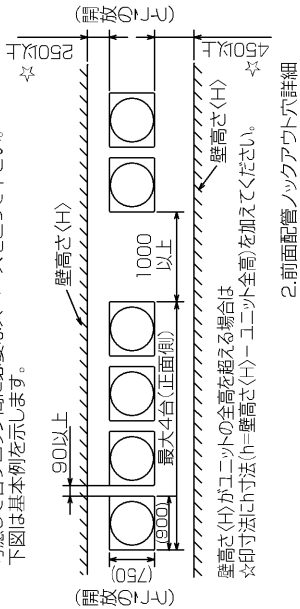
#### 1. 設置スペース (周囲必要空間)

下图は基本例を示します。詳細につきましては、工事マニュアル等の技術資料を参照願います。

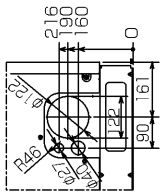
(1) 単独設置の場合 (必要空間の基本)  
背面側は吸込空気の高さ係上100mm以上必要ですが、背面からのサービス等を考慮した場合、正面同様450mm程空けておいた方が便利です。



(2) 集中設置・連続設置の場合 (基本例)  
多数のユニットを設置する場合は、人の通路、風の流通を考慮して各ユニット間に必要スペースをとってください。  
下图は基本例を示します。

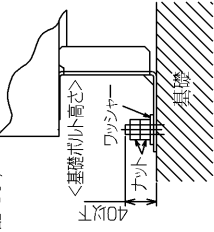


#### 2. 前面配管ノックアウト穴詳細

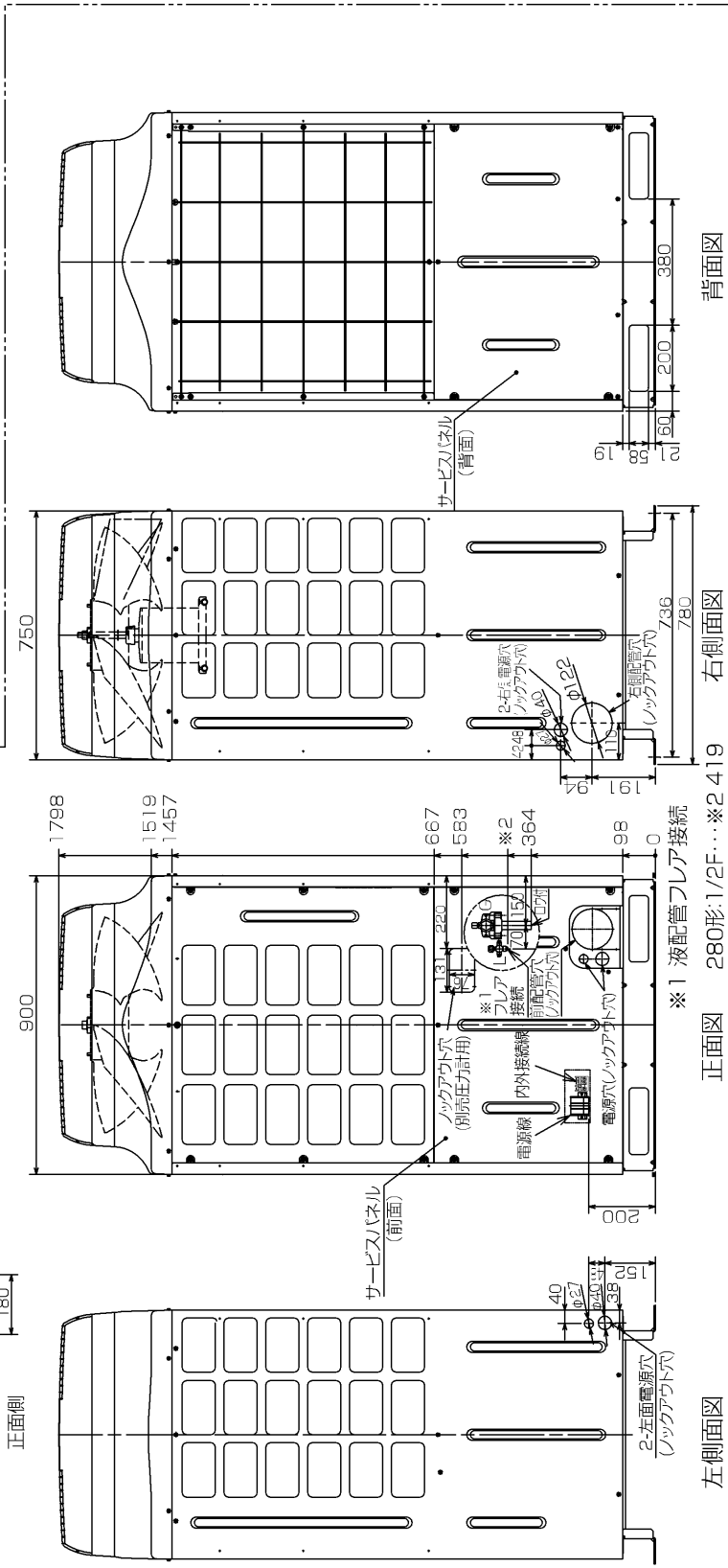


#### 3. 基礎ボルト

M10の基礎ボルトでユニットの据付足を4ヶ所強固に固定してください。(基礎ボルト、座金、ナットは現地手配です)



4. 配管配線取入れ方向  
配管配線接続は、図示されているノックアウト穴より取入れ願います。



正面図

右側面図

背面図

RG01N967

単位	スケール	作成日	形名	MPUZ-WRP280HA5(-BS(G))
mm	NTS	2007-5-31	パッケージエアコン室外ユニット外形図	
		三菱電機株式会社		
図番	副番	記号		
GA-MPUZ-WRP280HA5				

MPUZ-WRP280HA5 形

室外ユニット耐(重)塩害仕様 仕様書

図示番号	区分名	部品名	素材仕様	標準仕様	耐塩害	耐重塩害	表面処理仕様	
①	外装パネル	本体ベース	アルミ亜鉛マグネシウムメッキ鋼板	○			—	
					○		アクリル樹脂塗装/内外面1回塗装	
②,③,④ ⑤,⑥,⑦	外装パネル	パネル	合金化亜鉛メッキ鋼板	○			アクリル樹脂塗装/内面2回,外面1回塗装	
					○		ポリエステル樹脂塗装/外面1回塗装	
					○		アクリル+ポリエステル樹脂塗装/内外面1回塗装	
					○		アクリル+ポリエステル樹脂塗装/内面1回,外面2回塗装	
⑧	外装パネル	ファンガード	ポリプロピレン樹脂成形品	○	○	○	—	
⑨	外装パネル	リヤガード	SWM鉄線	○	○	○	ポリエチレン樹脂コーティング	
⑩	送風機	ブロペラファン	AS樹脂ガラス繊維強化成形品	○	○	○	—	
⑪	送風機	モータ	フレーム部	溶融亜鉛メッキ鋼板	○	○	○	—
			シャフト部	S35C	○	○	○	ラッカー塗料
⑫	送風機	モータサポート	炭素鋼鋼管(STKM11A)	○	○	○	カチオン電着塗装	
⑬	熱交換器	フィン	プレコートアルミ板	○			—	
						○	○	防蝕・親水性処理フィン(ビニル系又はアクリル系樹脂塗装)
		側板	溶融亜鉛メッキ鋼板	○	○	○	クロムフリー被膜処理	
		配管	リン脱酸鋼管(C1220T)	○	○	○	—	
	熱交換器	配管溶接部	ロー材:リン銅ロー	○	○	○	—	
⑭	圧縮機	圧縮機	熱間圧延鋼板	○	○	○	アルキド樹脂塗装	
⑮	冷媒配管	配管	リン脱酸鋼管(C1220T)	○	○	○	—	
⑯		配管溶接部	ロー材:リン銅ロー	○	○	○	—	
⑰	電気品箱	プリント基板	ガラスコンポジット CEM-3	○	○	○	防湿剤塗布(マイコン足部周辺)	
⑱	その他	セパレータ (ドレンパン)	アルミ亜鉛マグネシウムメッキ鋼板	○			クロムフリー被膜処理	
				○		アクリル樹脂塗装/内外面1回塗装		
				○		アクリル樹脂塗装/内面2回,外面1回塗装		
⑳		その他	配管支持板	溶融亜鉛メッキ鋼板	○			クロムフリー被膜処理
					○	○	端面部にエポキシ樹脂塗装	
—		ネジ(外装)	SWCH18(鉄)	○			亜鉛ニッケル合金メッキ	
			SUS410(ステンレス)		○	○	亜鉛ニッケル合金メッキ	
—		ラベル			○	○	JRA耐塩害仕様	
						○	JRA耐重塩害仕様	
—	その他板金部品		溶融亜鉛メッキ鋼板	○			—	
					○	○	端面部にエポキシ樹脂塗装	

「耐塩害仕様・耐重塩害仕様室外ユニット」は、日本冷凍空調工業会規格JRA9002に基づいています。

ご注意

- 海水飛沫及び潮風に直接さらされることを極力回避するような場所へ設置してください。(設置場所の条件により、ユニットの寿命が異なります。)
- 外装パネルに付着した海塩粒子が雨水によって十分洗浄されるように配慮してください。(日除けなどを取り付けたら雨水による洗浄ができなくなります。)
- 室外機底板内への水の滞留は、著しい腐食作用を促進させる為、底板内の水抜け性を損なわないように、傾きなどを注意してください。
- 沿岸地帯へ設置された場合は、付着した塩分等を除去する為に定期的に水洗いを行ってください。
- 据付時、メンテナンス時等に付いた傷は、補修してください。
- 機器の状態を定期的に点検してください。
- 基礎部分の排水性を確保してください。

